

CUBE SYSTEM

証券コード:2335

野村IR主催

株式会社キューブシステム 個人投資家向けWEBセミナー

2023年9月4日

代表取締役 社長執行役員 兼 CDO

中西 雅洋



はじめに

経歴紹介



代表取締役 社長執行役員 兼 CDO (Chief Digital Officer)

なかにし まさひろ

中西 雅洋

略歴

- 1982年4月 野村コンピュータシステム株式会社（現：野村総合研究所） 入社
- 2009年10月 同社 中部支社 副支社長
- 2017年4月 株式会社キューブシステム 執行役員
- 2018年4月 同社 常務執行役員
- 2020年4月 同社 社長執行役員 兼 CDO (Chief Digital Officer) (現任)
- 2020年6月 同社 代表取締役 (現任)

生年月日	最終学歴	出身地
1958年11月6日生(満64歳)	1982年3月 京都大学	和歌山県



1. 当社概要

2. 特長と強み

3. サステナビリティ経営

4. 成長戦略～VISION2026～

5. 株主還元

- ご参考
- 巻末資料



1

当社概要

当社概要

法人企業向けにシステムソリューション・サービスを提供する会社です

証券市場

東証プライム
証券コード：2335

事業内容

システムソリューション
・サービス



売上高



上場時からの年平均成長率 **4.9%**

163 億円 (2023年3月期 実績)

資本金

14 億円

社員数

連結：**904** 名
(2023年6月30日現在)



創業

51 年目
(1972年7月設立)



本社所在地

東京都品川区

関連子会社・所在地

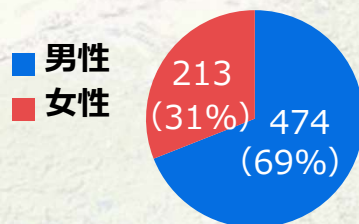
北海道キューブシステム・北海道札幌市
ベトナムキューブシステム・ベトナムホーチミン市
上海求歩情報システム・中華人民共和国上海市

事業拠点および社員数内訳

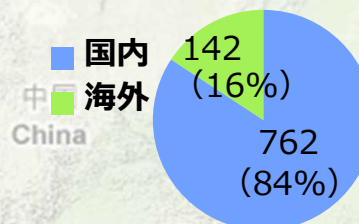
CUBEグループ社員

904名

「社員構成」 (単体687名)



「社員構成」



北海道キューブシステム
北海道札幌市
1990年12月設立

75名



本社
東京都品川区
1972年7月設立

西日本ソリューション事業本部
大阪府大阪市

566名



上海求歩情報システム有限公司
中華人民共和国上海市
2009年7月設立

28名



CUBE SYSTEM VIETNAM CO., LTD.
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
2008年3月設立

114名



福岡オフィス
福岡県福岡市

9月
開設

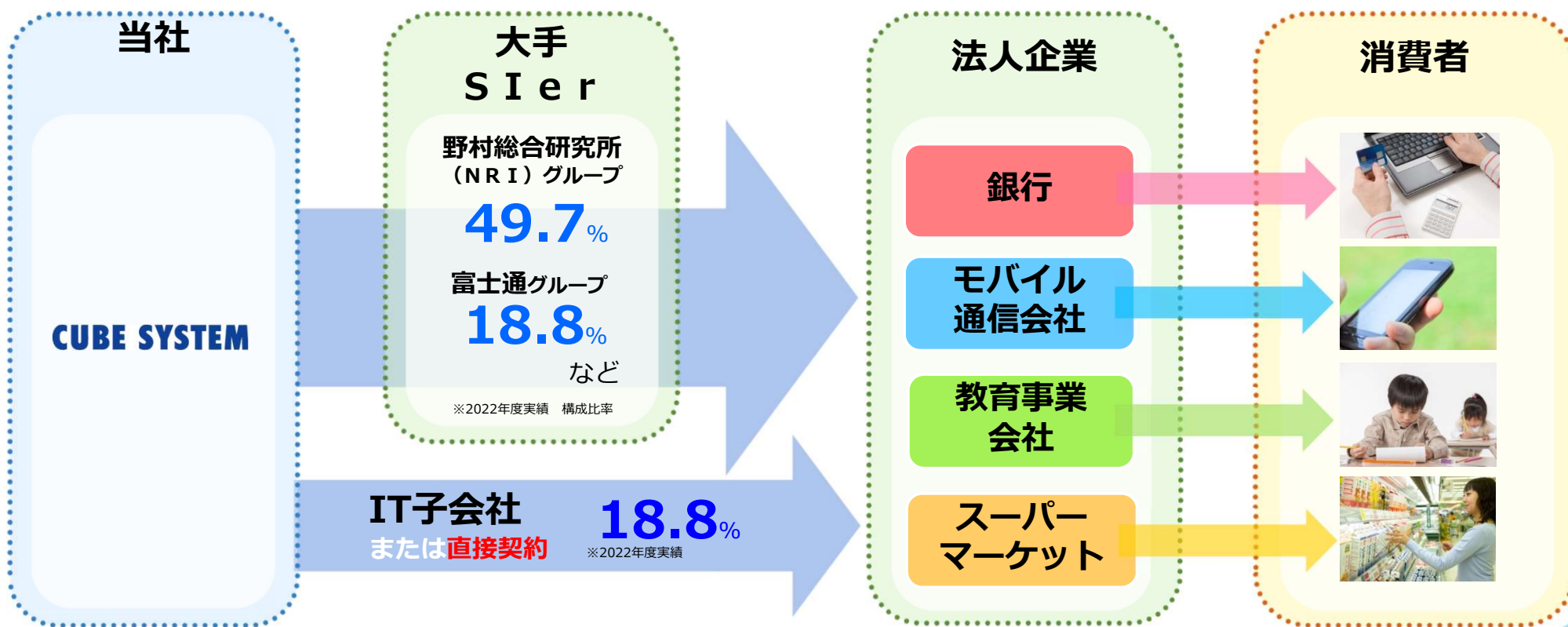
名古屋オフィス
愛知県名古屋市

19名

(2023年6月末時点)

提供サービスの流れ

サービスの提供は、
IT大手S I e r と連系する形態、当社がプライムとなる形態です



提供サービス事例



提供サービス事例①

大手総合スーパー向けのシステムアウトソーシングサービス
→DXの色を交えながら、より高度化するシステムに対応



商品の需要予測に基づき
商品の調達から在庫管理までのプロセスを
最適化するシステムの保守・運用

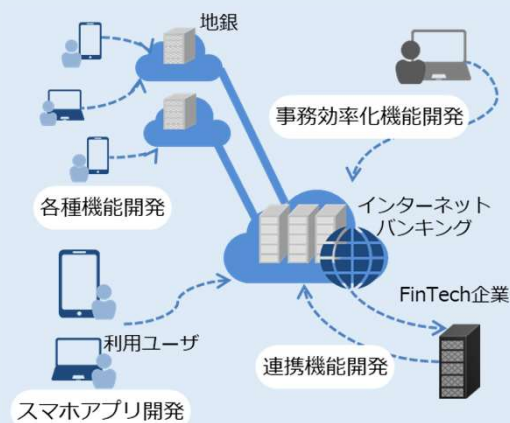


提供サービス事例②

メガバンク・地方銀行向けにインターネットバンキング・
スマートフォンアプリの開発、保守・運用



インターネットバンキング 全般のサービスを提供



提供サービス事例③

大手運送事業会社向けEC（ネットショッピング）配送システムの開発、保守・運用
→コロナ禍をキッカケに物流の効率化に寄与



配送システムの開発を通じて
配送の効率化に貢献

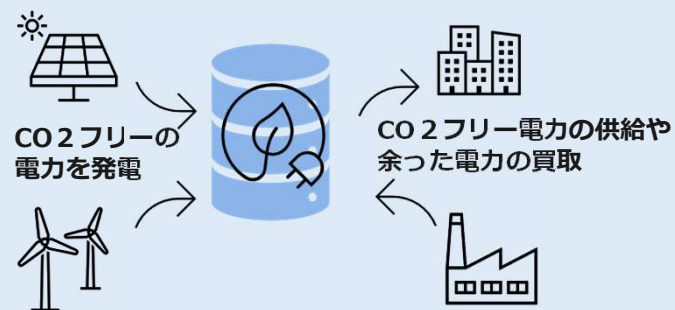


提供サービス事例④

電力会社と利用者をつなぐサービスの運用・保守
→ITを通じて、CO2を可視化し脱炭素社会に貢献



ESG (Environment : 環境、
Social : 社会、Governance : 企業統治)
を意識した社会づくりのために
電力を可視化するサービスを運用





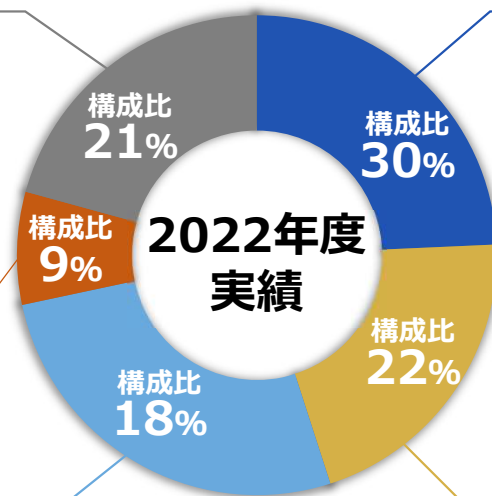
2

特長と強み

特長と強み

顧客基盤

特定の業種に偏らない顧客基盤



特長と強み

人材

他社にはない3つの独自の取り組みにより、**高いパフォーマンス**を発揮

①総員営業主義

- ✓ **業務に精通したエンジニアが担当**
- 業務や業種に精通したエンジニア自らが、システム化の提案・課題に対しスピーディーに対応

②原価管理と損益教育

- ✓ **プロジェクトを経営する意識を醸成**
- 損益感覚を持ったエンジニアによる徹底した原価管理
- 独自の管理会計システム

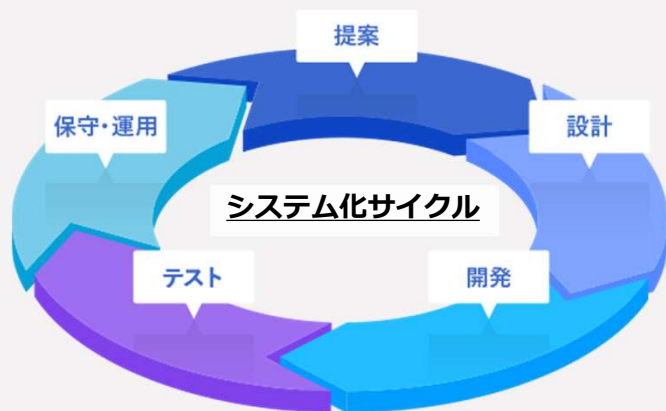
③生産体制基盤

- ✓ **グローバル生産体制（海外子会社）**
- ✓ **ニアショア体制の強化（国内子会社、福岡拠点etc）**

特長と強み

組織知 (PM力)

システムの導入後に、システムの改善・強化を継続的に行う
エンハンスサービスの実績が豊富であることが当社の大きな強みです



他社にはない
長年に渡る経験・高度なノウハウ

継続性が高く、安定した収益源

✓ エンハンス（機能の高度化）サービスとは？

システム化サイクルの「**保守・運用**」段階。継続的な改善活動を通じ、「お客様のビジネス環境の変化や新たな技術の進化に合わせて、システムの機能や性能を向上させ、システムの価値を高める」取り組みです。

高品質なサービスを実現する**品質管理体制**を構築

品質・損益管理におけるリスク

- ・収益性の低下、不採算の可能性
- ・システムの難易度の高まり

✓ システム開発会議を開催し、**全社で強かにサポートする仕組み**を実施

- ・高難度技術、セキュリティなどさまざまなリスクに応じて招集された有識者がアセスメントを行い、現場の実態に即してアドバイス
- ・各プロジェクトに対するモニタリング機能を強化
- ・工程ごとのレビューを徹底→リスクの早期共有や見える化

特長と強み

顧客基盤

長期的なお取引を通じ、信頼確保に努め、
強固な顧客基盤を構築しています

30年以上

大手総合スーパー
大手アパレル会社

官公庁
郵便会社

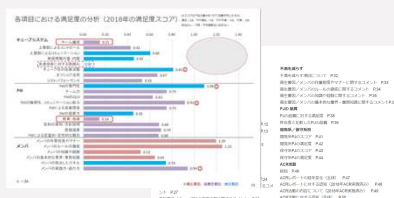
20年以上

大手モバイル通信会社
証券取引所 メガバンク



✓ 独自の取り組み 顧客満足度調査の実施

毎年、お客様に対して当社に対するアンケート・ヒアリングを外部機関を通じて実施しています。調査結果を通して課題や問題を認識し改善を行い、さらなる満足度向上を図っています。

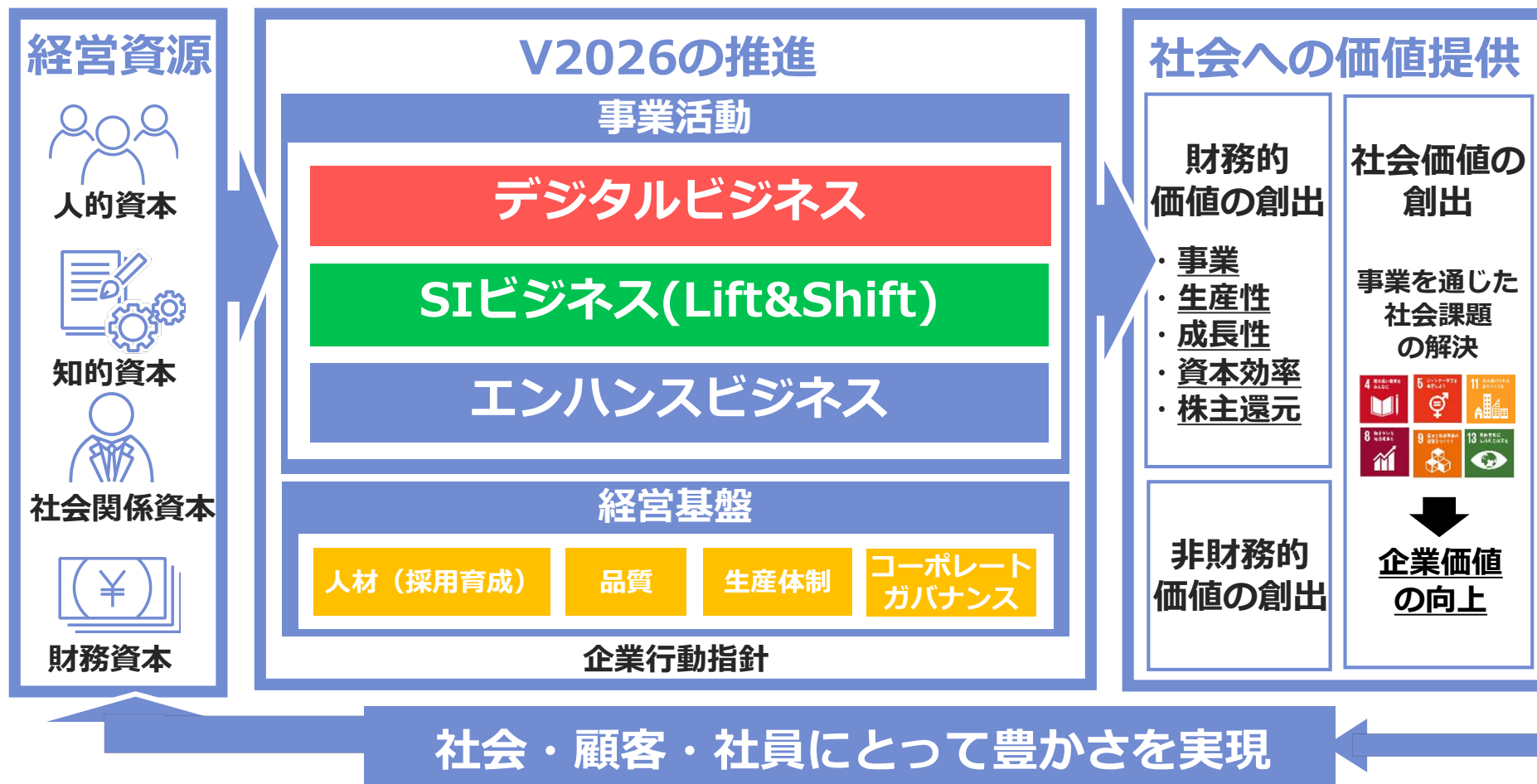




3

サステナビリティ経営

当社のサステナビリティ経営の考え方について



サステナビリティへの取り組み

非財務価値の創出

健康経営



- 健康経営優良法人2023に認定



- 2021年、総務省主催「テレワーク先駆者百選」に認定

環境



- 2021年、気候関連財務情報開示タスクフォースに賛同

ダイバーシティ & インクルージョン

- 女性活躍推進
- 障がいのある方と専任のフォローメンバで構成された「業務支援チーム」を設立

当社が求めるDX人材

人的資本の拡充

ソフトウェア
エンジニアリング



ビッグデータ

クラウド

人工知能

仮想現実

モバイル

新規技術

流通

金融

農業

観光

政府

新規領域

ソフトウェアが実現することは、
新たな需要の創造、潜在的なニーズと
埋もれた事業機会のマッチング

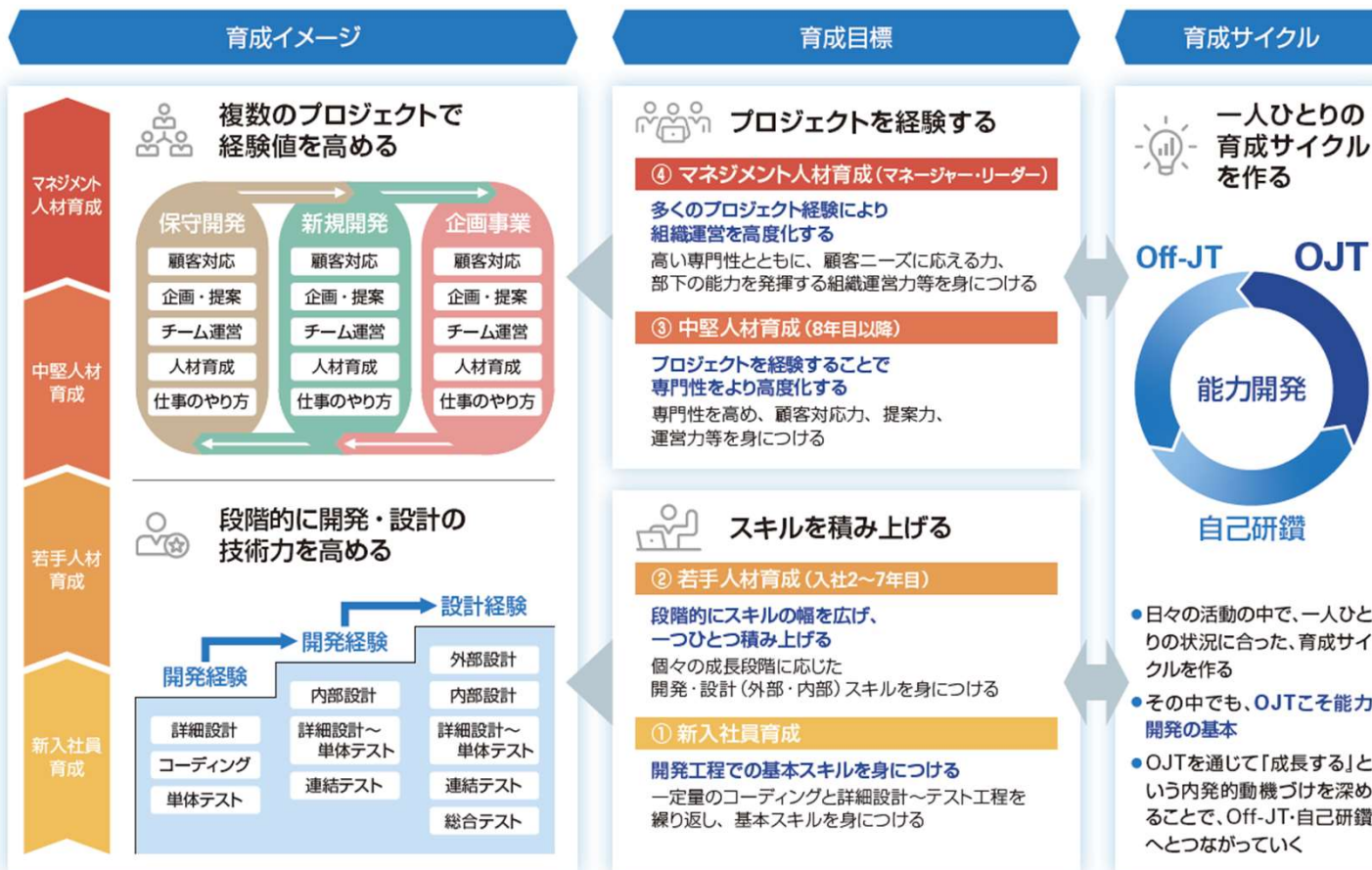
サービスを受ける側の満足向上と
サービス提供者への事業機会の創出

事業と技術の革新力

人材育成・教育への投資

人的資本の拡充

プロフェッショナルIT人材育成のあり方



人材育成・教育への投資

人的資本の拡充

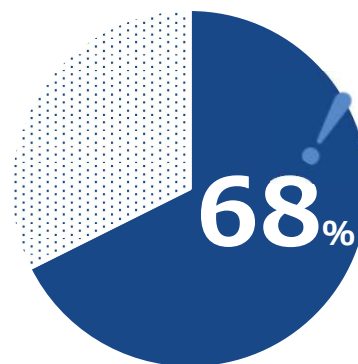
2023年4月時点

資格取得者数		当社技術者総数546名(単体)
情報技術者	基本情報技術者	371名
	応用情報技術者	114名
	高度情報技術者	47名
先進技術	Oracle DB	248名
	Oracle Cloud	33名
	AWS	166名
	LinuC	54名
顧客業務	JDLA G検定、E検定	G検定：30名 E検定：7名
	販売士（3級・2級）	計100名
	証券外務員（一種・二種）	計4名

エンハンスビジネスを支える技術者層

基本情報技術者
取得割合

応用情報技術者
取得割合



21%

高度情報技術者
取得割合

9%

DXビジネスをを支える技術者層

JDLA G検定、E検定（AIに関する資格試験）



スマイルシェアプロダクトについて

知的資本の拡充

AI、ブロックチェーンなど先進技術を使った自社プロダクトの研究開発

顔認証タッチレス決済など社員間の
エンゲージメント支援する3つのプロダクトを展開
特集ページURL : <https://www.cubesystem.co.jp/service/smile/>



サンクスコネクト



Cubecoin



スマイルレジ





4

成長戦略～VISION2026～

DXについて

デジタルトランスフォーメーションとは Digital Transformation (DX)

企業などが、デジタル化の流れに沿って、ビジネスの形を変えていく取り組み

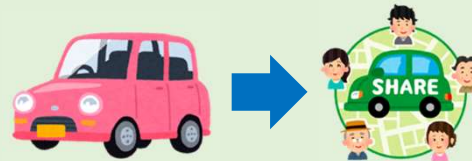
プロセス変革

効率化→改善・改良・修正
コストや納期の削減・効率化



ビジネス変革

事業創造→事業構造の転換
新しい価値の創出



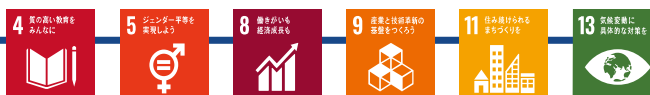
DXの主戦場は**社会課題解決**の舞台へ進んできている

VISION2026

V2026（2021-2026年度）

社員一人ひとりが、事業を通じて社会に貢献し、企業価値の向上を目指す。

社員自らが志を持ち、ビジネスマインドを持ち、自ら考え、行動する。
受託型＋企画型ビジネスで事業成長を果たす。



2021—2023年度
第1次中期経営計画
新たなビジネスへの変革に向けた基盤づくり

2024—2026年度

第2次中期経営計画
変革を成果へつなげ、
成長を加速

V2026の事業の方向性と3つのビジネスモデル

受託型+企画型ビジネスで安定的かつ継続的な事業基盤の構築
エンハンスビジネスを基盤にSIビジネス、デジタルビジネスへの投資注力

デジタルビジネス

ブランド価値向上

- 企画型のアプローチ
- 他社とのアライアンス投資

- ・ コンサル協業を通じたビジネス変革テーマの実践
- ・ デジタル技術を使った新ビジネスモデル構築と展開

SIビジネス (Lift & Shift)※

飛躍的な成長拡大

- **大規模** Sier連携で実現
- **中小規模** ソリューション提案

- ・ クラウド・インテグレーション案件の積極的提案
- ・ 当社独自のアジャイル型構築モデルの活用
- ・ 新たなシステム運用モデル構築・遂行

エンハンスビジネス

高収益化

- 高生産性、高付加価値
(高収益性)の徹底的追求

- ・ 基幹系、情報系システムのエンハンス範囲拡大
- ・ プロセス変革、派生開発の積極的な提案活動
- ・ 高品質、効率的なリソース活用による生産性向上

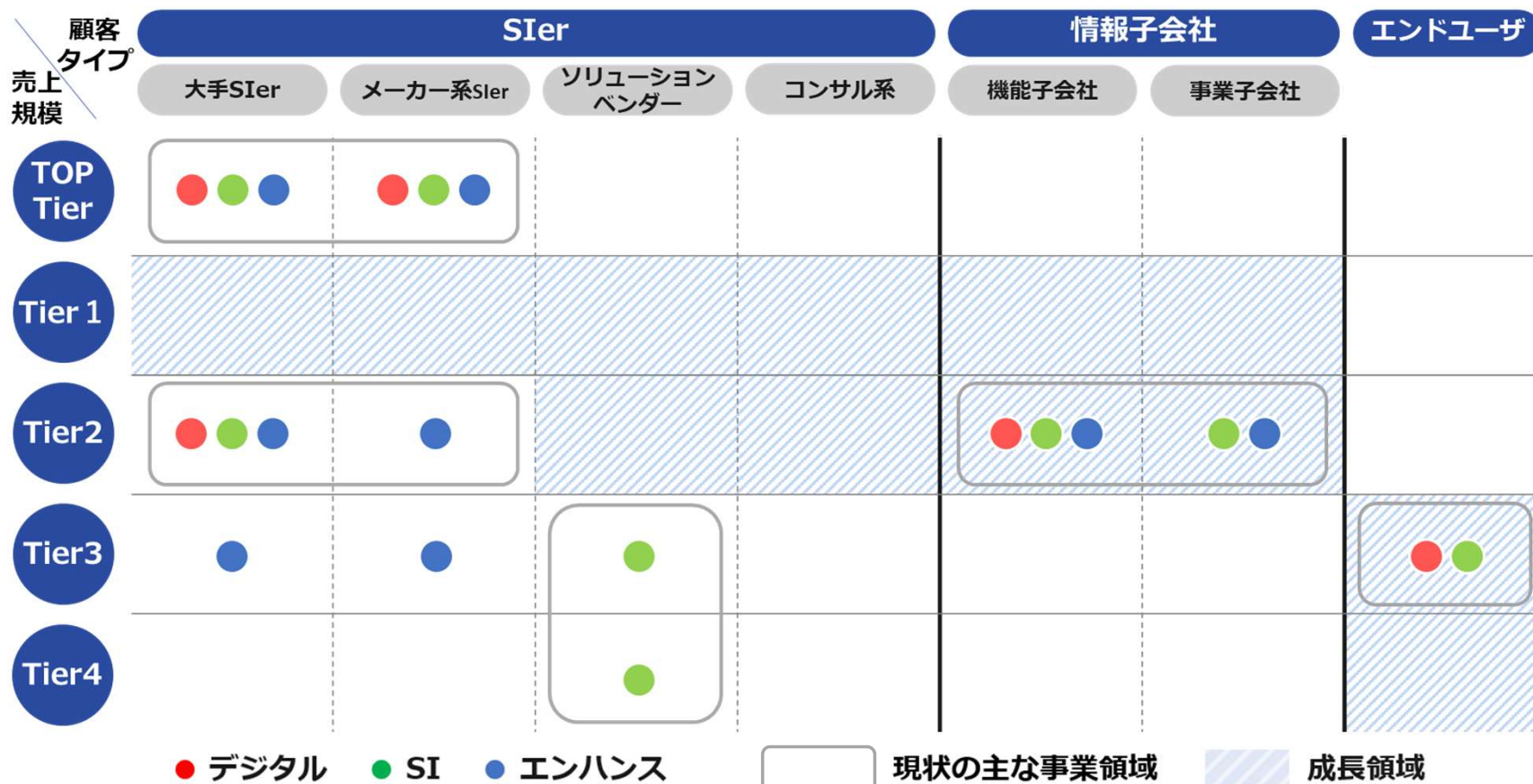
※ 既存システムの環境をクラウド環境への移行 (Lift) とクラウド上で提供されるシステムを再構築 (Shift) によりSIサービスを提供すること

ビジネスモデル別売上高構成イメージ








第1次中期経営計画の事業戦略

現時点の当社重点領域とビジネス内容（顧客タイプ×売上高規模のマッピング）



第1次中期経営計画の重要経営指標(財務)

		重要経営指標(KPI)	2023年3月期実績	第1次 中期経営計画目標	中長期の方向性
財務	 資本効率	ROE (2020年度:14.0%)	11.8%	継続的に13.0%以上	
	 生産性	一人当たり売上高 (2020年度:21百万円)	22.8百万円	23百万円	30百万円
	 ビジネスモデル変革	売上高構成比率	SIビジネス +16億円 (2020年度比)	SIビジネス +33億円(2020年度比)	デジタルビジネス +20億円(2023年度比)
	 成長性	売上高CAGR	5.1% [※]	8%程度	9%程度
	 利益指標	営業利益率 (2020年度:7.9%)	8.9%	9%	10%程度

※ 2023年3月期の実績は、2022年3月期 売上高実績に対する売上高前年比較(前期比)となります。

第1次中期経営計画の重要経営指標(非財務)

		重要経営指標 (KPI)				重要経営指標 (KPI)		
非財務	IT活用による	ダイバーシティ促進	女性活躍	女性管理職の割合	非財務	コミュニケーション活性化	スマイルシェアプロダクト活用度 (いのペイ利用率※2)	
				係長級 (JP-A) に占める女性社員比率				
				JP-A昇進申請者における女性の割合				
		男女間の賃金格差	全労働者	ITスキル研修受講率				
			うち正規雇用労働者	資格取得推進 (応用情報/AWS/Oracle Cloud) ※3				
			うちパート・有期労働者	1人当たり教育・研修 (自己啓発含む) 日数				
	働き方改革	ワークライフバランス	時間外勤務時間(月平均) ※1	人材育成	IT活用による	環境	GHG排出量目標 (Scope1,2,3) (基準年度: 2021年度)	
			有給休暇取得率					
			男性の育児休業取得率					
		健康経営	全社員への健康教育・動機付け					
			高ストレス者の割合					
			エンゲージメント	働き甲斐を感じている社員の割合				

※1 所定 (7.5h) 外労働時間にて算出。裁量労働適用者、管理監督者を含む全社員の平均

※2 いのペイ (ミニアプリも搭載した社内通貨キャッシュレス決済アプリ) の利用率

※3 応用情報技術者試験 / AWS認定資格 (レベル: プロフェッショナル) / Oracle認定資格 (Oracle Cloud Infrastructure)

2023年度注力テーマ

「事業推進」 「生産体制の拡充」 「経営企画」 の3つに注力

事業推進

NRI資本業務提携

Tier戦略

全社横断機能の強化(ビジネスモデルごと)

生産体制の拡充

人材戦略(採用・育成・エンゲージメント)

パートナー連携

品質向上

経営企画

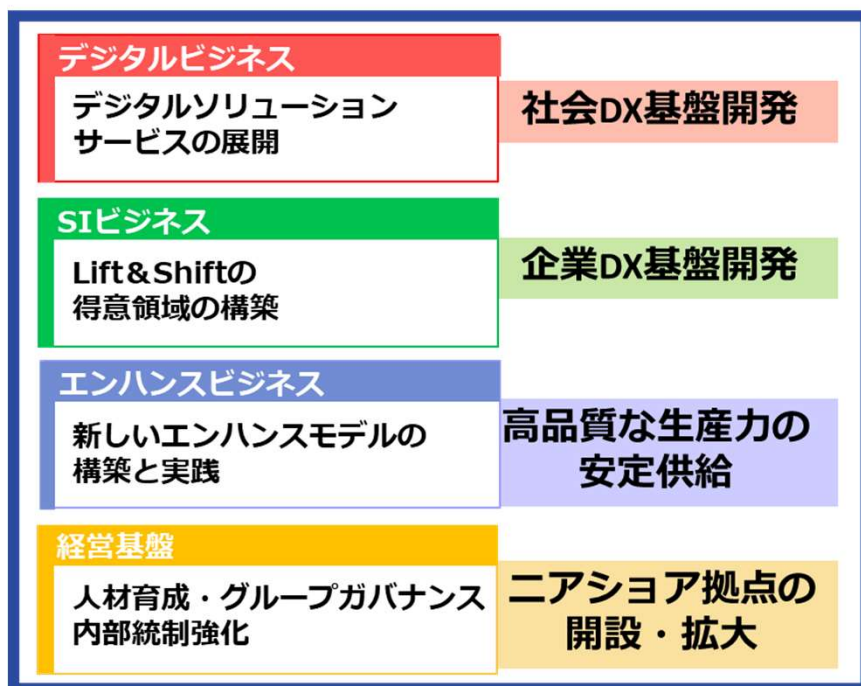
財務戦略

R&D戦略(投資)

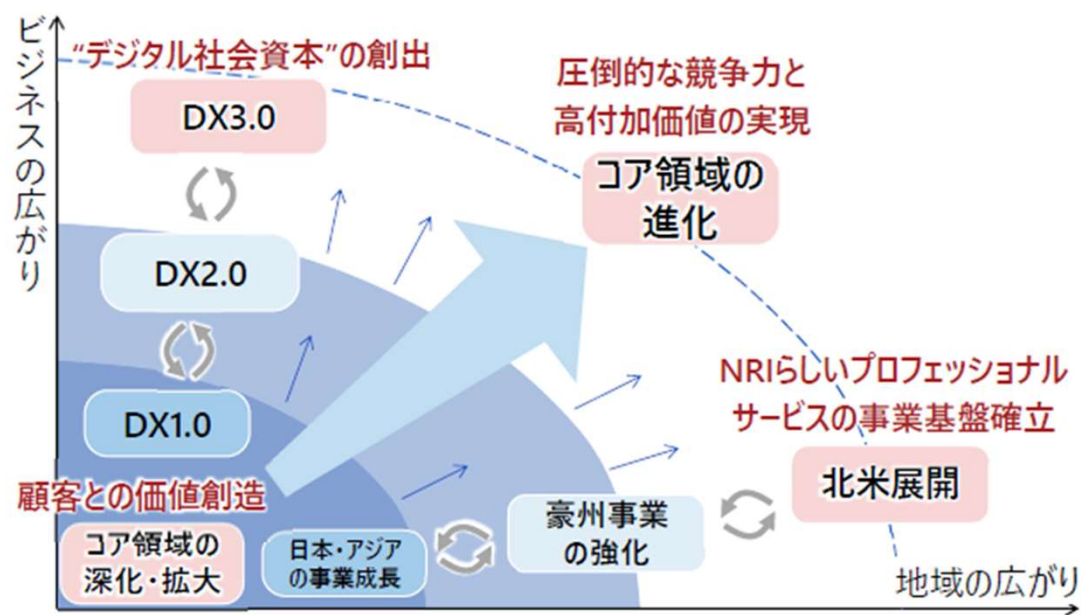
野村総合研究所（NRI）との資本業務提携について

両社のシナジーを活かし、**多様な社会課題の解決促進と顧客サービスの充実・拡大と強化**を目指します

【当社の連携・強化ポイント】





【NRI Group Vision2030 成長ストーリー】



※2023年4月27日開示のNRIグループ中期経営計画2023-2025より
 (株)野村総合研究所様の了承を得て引用

2024年3月期 第1四半期決算概況

事業構造モデルの改革を継続、生産体制の拡充に投資
SIビジネスが牽引し、増収増益

		2023年6月 実績 (前年同期 増減率)	2022年6月 実績	2024年3月期 業績予想 (対通期 進捗率)
売上高	43億76百万円 前期実績より 12.4%増  通期業績予想に対する進捗率は 24.3%	(単位：百万円)		
		4,376 (+12.4%)	3,892	18,000 (24.3%)
営業利益	3億69百万円 前期実績より 35.9%増  通期業績予想に対する進捗率は 22.8%			
		369 (+35.9%)	272	1,620 (22.8%)
		8.5%	7.0%	9.0%
		371 (+37.0%)	271	1,635 (22.7%)
		8.5%	7.0%	9.1%
		232 (+34.2%)	173	1,080 (21.6%)
		5.3%	4.5%	6.0%



5

株主還元

株価推移

ここ10年の当社株価の状況は、
TOPIX 105.2%増※に対して、当社株価251.4%増※

※13年7月末を0%として計算、23年7月末時点

◆TOPIXとキューブシステムの過去10年間の株価推移

出展：Yahoo!ファイナンス



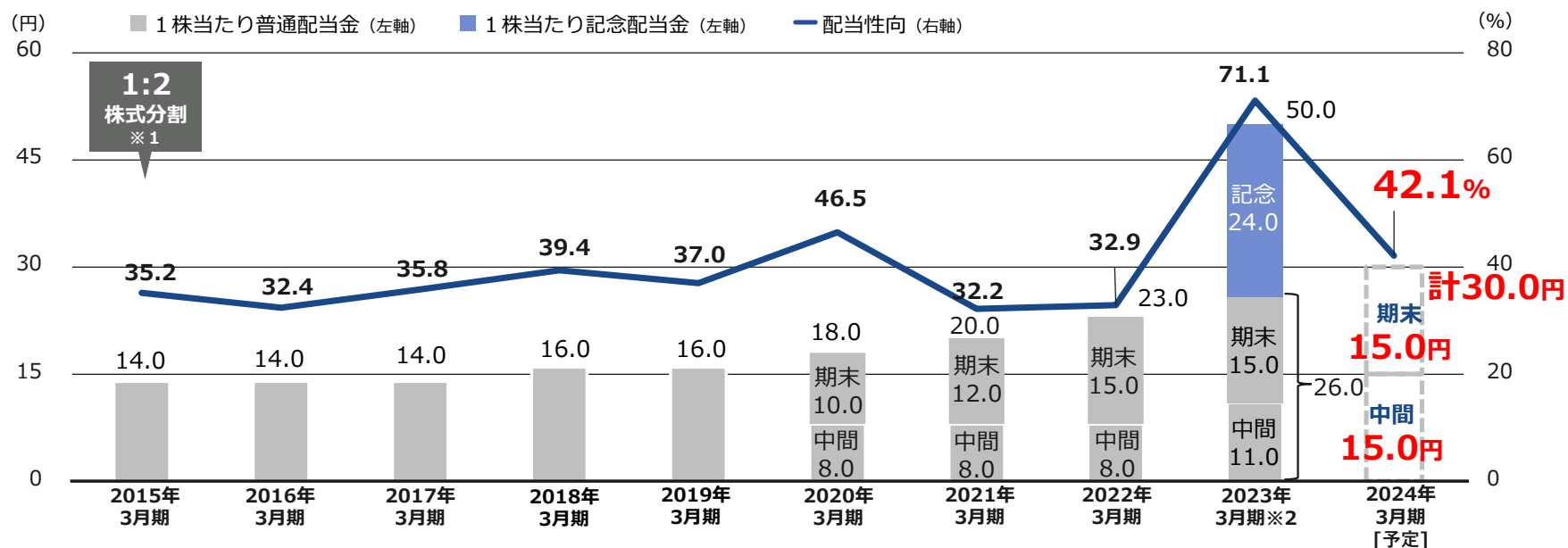
株価 (23年9月1日終値)	1,168円
時価総額	183億円
PBR 実績※ (株価純資産倍率)	2.0倍
PER 予想※ (株価収益率)	17.4倍

※PBR（実績）は、2023年6月30日の終値及び1株当たり純資産を用いて算出しております。

※PER（予想）は、2023年6月30日の終値及び通期の業績予想における1株当たり当期純利益を用いて算出しております。

配当金および配当性向の推移

株主の皆様への更なる還元を目指すため、2024年3月期より
連結配当性向の目安を35%から**40%に引き上げる**ことといたします



※1 配当金は、2014年10月1日の1:2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

※2 創立50周年記念配当は、2022年7月5日取締役会で決議しております。<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2154361/00.pdf>

株主優待

保有株式に応じたJCBギフトカードを贈呈しています

200株以上400株未満保有の株主様	1,000円分
400株以上1,000株未満保有の株主様	2,000円分
1,000株以上保有の株主様	3,000円分



**毎年9月末日の株主名簿に記載または
記録された株主様が対象となります。**

さいごに

Communication & Mutual Respect

V2026

ビジョン2026

思いをひとつに

make CHANCE from CHANCE

さいごに

株主レター・統合報告書のご紹介

CUBE SYSTEM
株式会社キューブシステム

株主の皆様へ
早業期別のご報告を厚く厚くお礼申し上げます。
当社は2022年5月1日付にて2022年3月期の業績報告書を発表いたしました。詳細は、当期中に掲載している決算短信、決算経理説明資料をご覧ください。
昨年より、私が日々感じ、抱いている思いを「株主様へのレター」としてお伝えしております。今回は、少し異なることとなりますが、私が年頭に社員にあてたメッセージと、今年度からスタートする当社の中期経営ビジョン（V2026）の編み方をあわせて紹介いたします。
2023年の当社様式において、私達社員に対して次の高揚を願っています。

「**思いやり、未来を共に築く**」と「**責任と、未来の責任**」を
（※）

早業女子学生の成長、高度な学歴取得者の育成を夢見する人に出会ったことが、
大層いいですね、子供の小さな芽が自らに育ちます。君や木の根が成長を促すものも
多くありますよ。しかし、その成長は思惑することもなく決まらずに、やがて大きな成長に
たどり着き、大層になります。
同時にここを築くようにすると、結果するものが出てまいります。成長には、思いが強く
なくてはならない場合があります。この成長が私たちに教えてくれるもの、それは、成長が
自然の摂理に仕上がって行先を求めよう、課題や問題が立ちわかっても根や土壌に
見え、地の下の流れを飲みながら責任に担うこと。私は社員にこのような取組み、身の節
し方を求めたい。結果に導いてチャレンジして欲しいことを伝えました。
さて、4月にスタートさせた中期経営ビジョンV2026です。私が想いを成長と社会貢献を業
たしていくための基本方針を「**思いやり+企業価値+社会貢献+未来成長を築く**」「**社員自身が高
品質、ビジネスマインドを持ち、自ら考え、行動する**」としました。
中期経営ビジョンとは、お客様が望まれる「システムを、現業が責任をもって取り上げる」ビ
ジネスで、当社の成長を促すことであります。一方企業価値+社会貢献とは、後者がこれま
でに確立したノウハウを中期経営ビジョンV2026に、サービスとして、ソリューションとしてお客様に提
供するビジネスモデルです。企業価値+社会貢献のためには、当社が中期経営ビジョンで培って
きた中核知識を体系化し、自ら考えようとしていくこと、それが責任を持って取り上げるこ
とです。その中でなく、自分自身が、積極的に行動しなくてはなりません。そして、こ
の心を決めていくには、業を通じて自らに責任を負うことが必要です。
V2026という新たな成長戦略のもと、共に築く基本方針に基づいて、社員一人ひとりが株
主様への報告に込めるとともに、社会貢献を志してまいります。大いにご期待ください。
未来ながら株主の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

2022年5月8日
株式会社キューブシステム
代表取締役 社長 伊藤 幸二
伊藤 幸二



株主レターページはこちら
<https://www.cubesystem.co.jp/ir/library/report/>

CUBE SYSTEM

統合報告書 2022
Integrated Report



統合報告書ページはこちら
<https://www.cubesystem.co.jp/ir/library/integratedreport/>

ご参考

当社ホームページ・公式X（Twitter）をご活用ください

当社ホームページでは、皆様に当社をより理解していただくために、様々なコンテンツをご用意しております。是非とも当社ホームページ（<https://www.cubesystem.co.jp/>）にアクセスしてください。

■ 「IR情報」ページ



IR情報TOPの
QRコードはこちら



キューブシステム公式X
(Twitter) アカウント更新中♪

IRやPR情報、HPの更新情報なども発信。
キューブシステムに係る
さまざまなことをつぶやきます！

URL : https://twitter.com/CUBESYSTEM_JP

是非フォロー
してね！



広報キャラクター
いのべえ



巻末資料（主なニューストピックス）

2023年2月8日	業績予想の修正 に関するお知らせ https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2232466/00.pdf
2023年3月27日	2年連続で「健康経営優良法人2023」に認定 https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2255057/00.pdf
2023年4月1日	V2026の実現に向けて一部組織を再編 https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2228621/00.pdf
2023年5月9日	「2023 Japan AWS Jr. Champions」「2023 Japan AWS All Certifications Engineers」において、当社エンジニアが選出 https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2270736/00.pdf
2023年5月29日	Oracle Cloud VMware Solutionへの移行サービスである 「OCVS Lift Service」の提供開始 https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2289026/00.pdf
2023年8月2日	福岡オフィス開設 に関するお知らせ https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2319487/00.pdf
2023年8月10日	「Oracle Japan Award 2023」において「Best Cloud Integrator Partner of the Year」を受賞！ https://ssl4.eir-parts.net/doc/2335/tdnet/2326661/00.pdf

巻末資料（野村総合研究所との資本業務提携について）

**長期かつ継続的な関係の強化、事業領域の拡大や生産体制の拡充を目的に
2022年12月8日付で野村総合研究所(NRI)と資本業務提携契約を締結**

<業務提携の内容>

- ① 両社の業務受委託に関する長期かつ継続的な関係の強化
- ② 両社の業務受委託の事業領域の拡大の推進
- ③ ニアショア等の生産拠点の活用拡大
- ④ 生産体制の拡充
- ⑤ 人材交流
- ⑥ 事業連携の体制整備と運用
- ⑦ 前各号に定めるもののほか、両社が別途協議し、合意する事項

<第三者割当について>

本契約において、当社は第三者割当による新株発行及び自己株処分により、NRIに対して 1,630,000 株（割当後の発行済株式総数の 10.35%）の普通株式を割り当てました。これによりNRIが保有する当社株式の議決権の所有割合は20.20%となりました。

（参考）当社の第三者割当後のNRI社の持株比率

	第三者割当前 (2022年9月30日現在)	第三者割当後
株式会社 野村総合研究所	1.51%	20.18%

※持株比率は、発行済株式（自己株式を除く）の総数に対する比率を記載しております。

巻末資料（DXの取り組み事例）

ブロックチェーンEXPOに出展



- ブロックチェーンなどを用いて自社開発した「スマイルシェアプロダクト」を展示

AI技術を活用した自動発注システムの構築



- AIを用いたコンビニエンスストアでの実証実験やスーパーマーケットでの需要予測のソフトウェア開発を担当

巻末資料（DX人材育成について）

- 独自のDX技術者育成プログラム

AI

クラウド技術

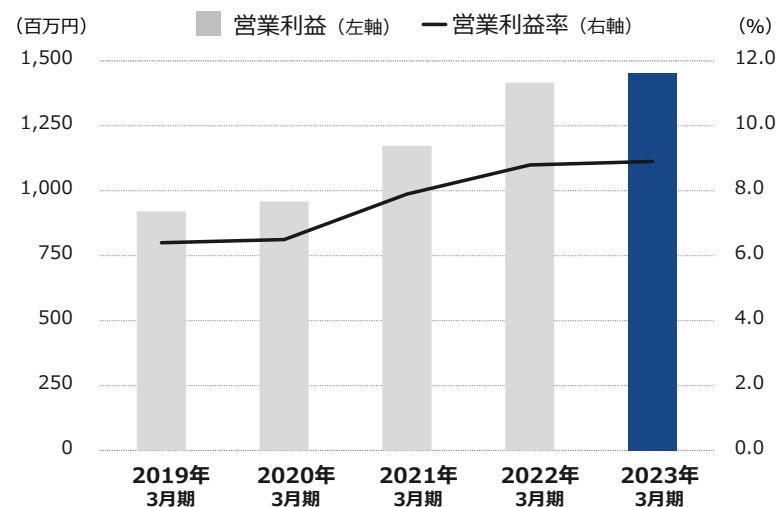
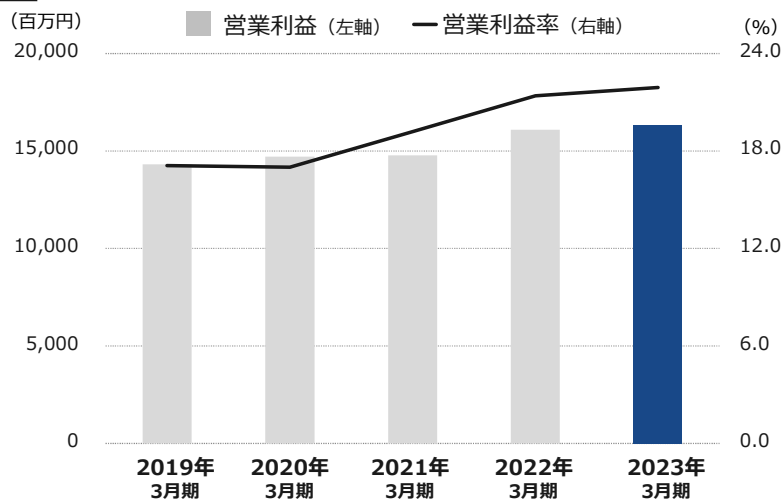
CX/UX

最先端への活躍に挑戦する社内活動として、現在、①AIトッパー・プログラム ②AWS（アマゾンウェブサービス）トッパー・プログラム ③CX/UX（カスタマーエクスペリエンス/ユーザーエクスペリエンス）トッパー・プログラムの3種類のトッパー・プログラムを実施し、参加している社員に向けて、研修・イベント/セミナーへの参加などさまざまな環境の提供を行っています。

- アイデアソン、ハッカソン、コンベンションなど豊富な社内イベント



巻末資料（財務ハイライト）



(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期比
売上高	14,325	14,708	14,788	16,099	16,325	+1.4%
売上原価	11,876	12,204	11,948	12,649	12,755	+0.8%
売上総利益	2,448	2,503	2,840	3,450	3,570	+3.5%
	(17.1%)	(17.0%)	(19.2%)	(21.4%)	(21.9%)	
販売費及び一般管理費	1,527	1,544	1,665	2,032	2,117	+4.2%
営業利益	921	959	1,174	1,417	1,452	+2.4%
	(6.4%)	(6.5%)	(7.9%)	(8.8%)	(8.9%)	
経常利益	959	976	1,295	1,432	1,480	+3.3%
	(6.7%)	(6.6%)	(8.8%)	(8.9%)	(9.1%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	596	525	844	944	989	+4.8%
	(4.2%)	(3.6%)	(5.7%)	(5.9%)	(6.1%)	

巻末資料（財務ハイライト）

連結貸借対照表 主要項目抜粋

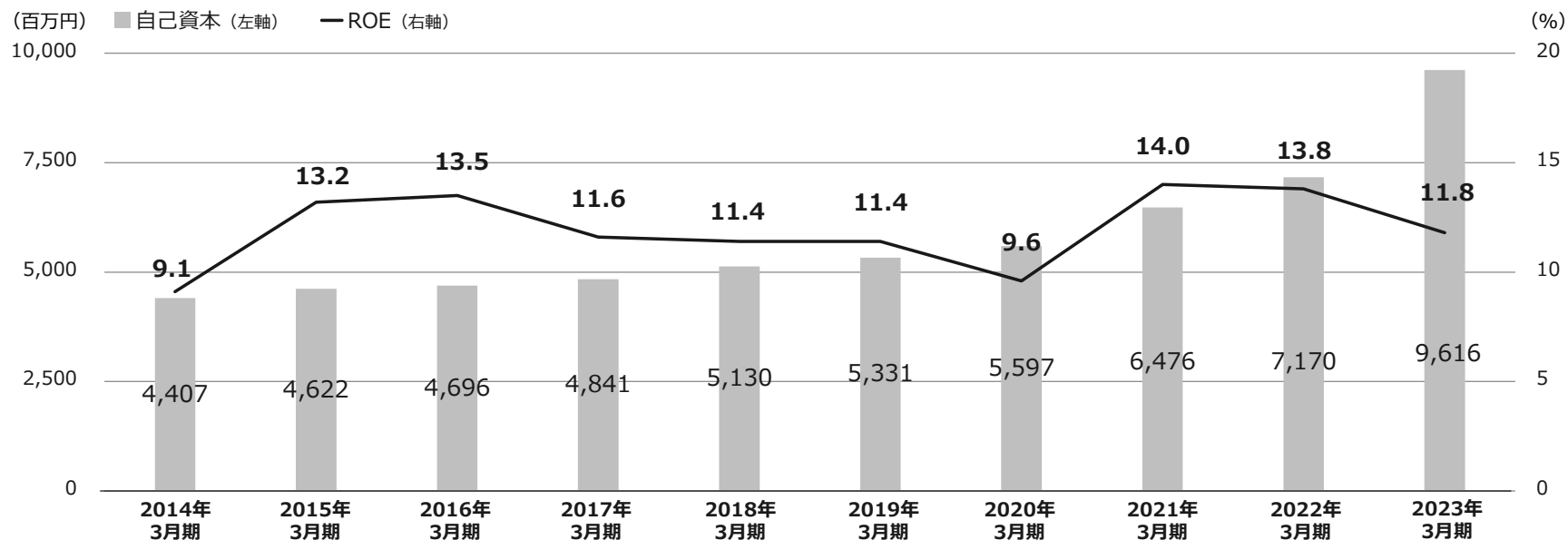
(単位：百万円)

資産の部	22/3	23/3	増減
流動資産	7,805	9,703	+1,897
現金及び預金	5,058	6,748	+1,690
売掛金及び契約資産	2,584	2,702	+117
有価証券	-	100	+100
仕掛品	16	10	△5
その他	146	141	△4
固定資産	2,259	2,844	+585
有形固定資産	169	124	△44
無形固定資産	4	3	△1
投資その他の資産	2,084	2,716	+631
資産合計	10,064	12,547	+2,482

負債の部	22/3	23/3	増減
流動負債	2,199	2,188	△10
買掛金	753	796	+43
短期借入金	240	240	-
その他	1,206	1,152	△53
固定負債	650	742	+91
負債合計	2,850	2,930	+80
純資産の部	22/3	23/3	増減
株主資本	6,721	8,847	+2,125
その他の包括利益累計額	448	769	+320
非支配株主持分	44	-	△44
純資産合計	7,214	9,616	+2,402
負債・純資産合計	10,064	12,547	+2,482

巻末資料（財務ハイライト）

自己資本およびROEの推移

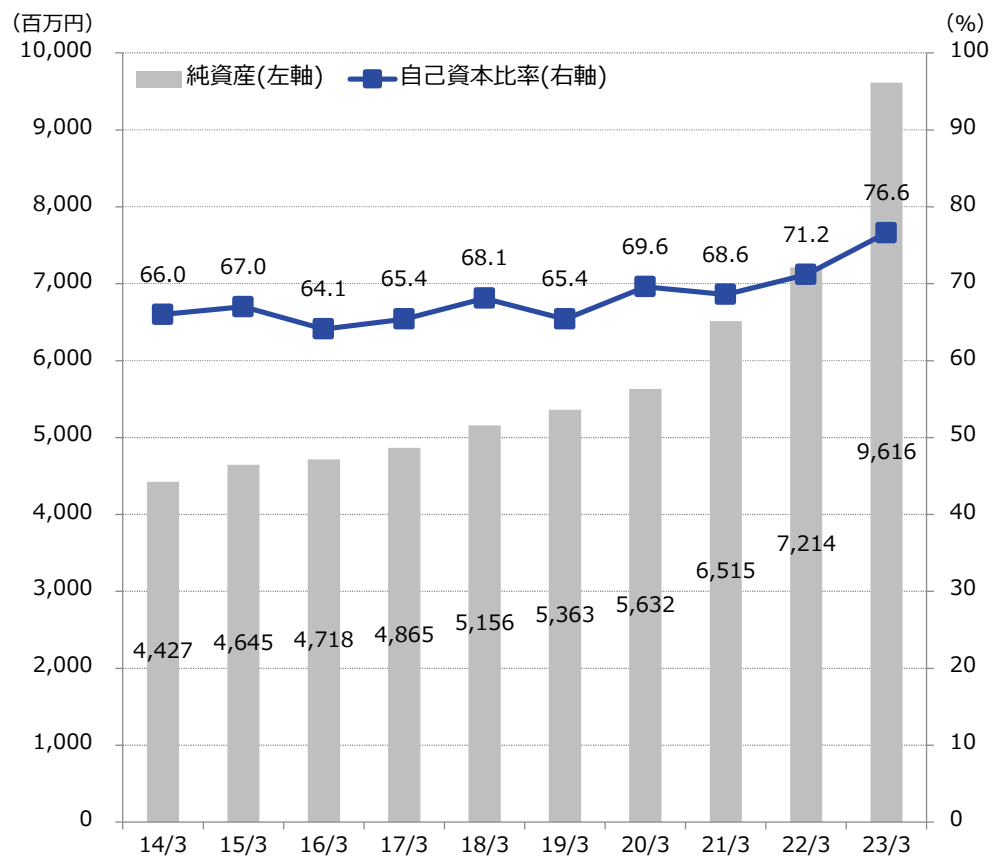


	キューブシステム	東証プライム企業平均
自己資本比率 (2023年3月期)	76.6%	33.0%
ROE (2023年3月期)	11.8%	9.2%

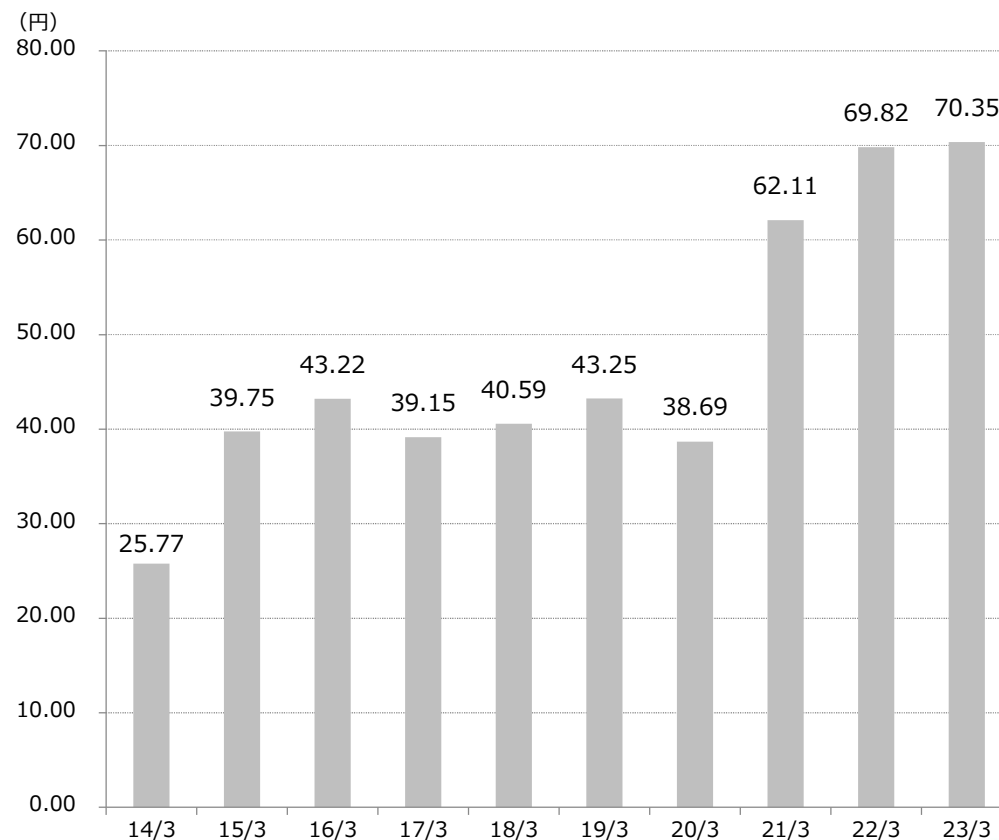
※ JPX調査レポート 2023年3月期決算短信集計【連結】《プライム》より参照 [調査レポート | 日本取引所グループ \(jpx.co.jp\)](https://www.jpx.co.jp)

巻末資料（財務ハイライト）

純資産/自己資本比率

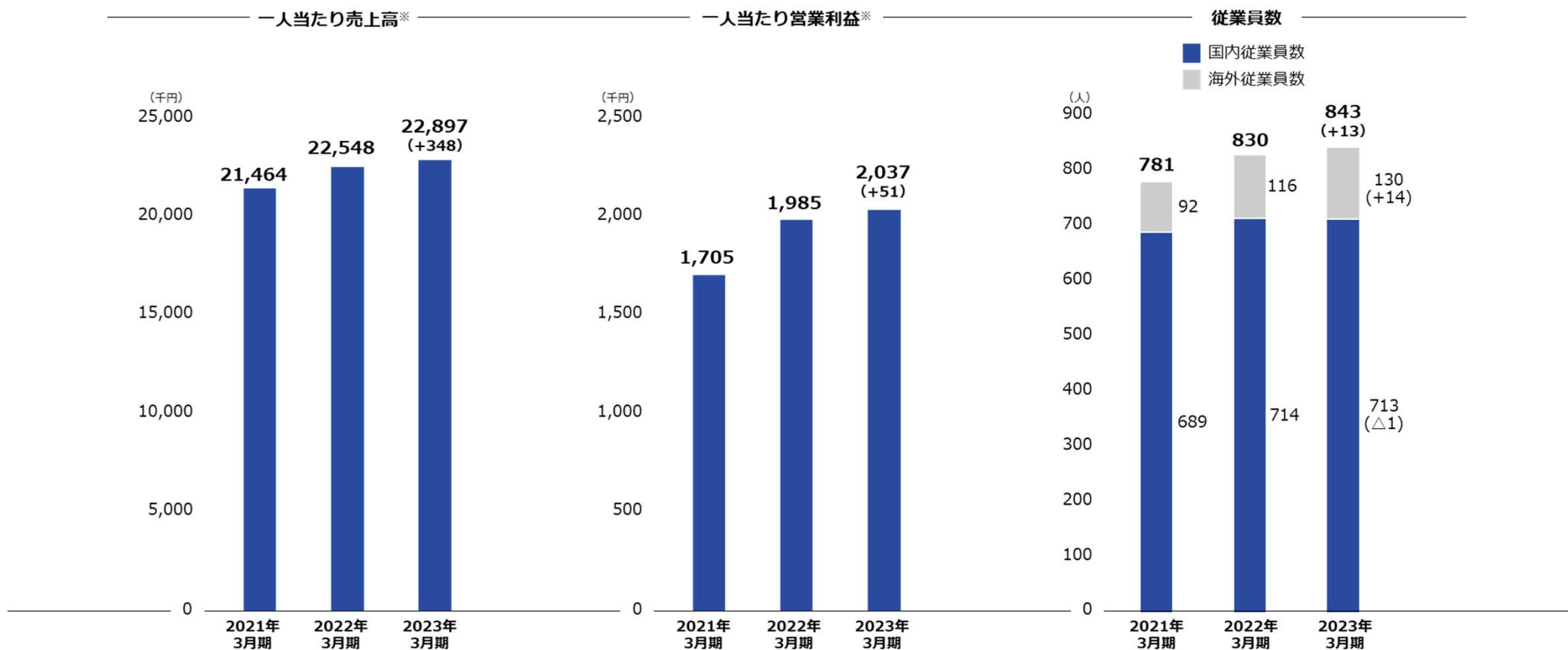


一株当たり当期純利益（EPS）



巻末資料（財務ハイライト）

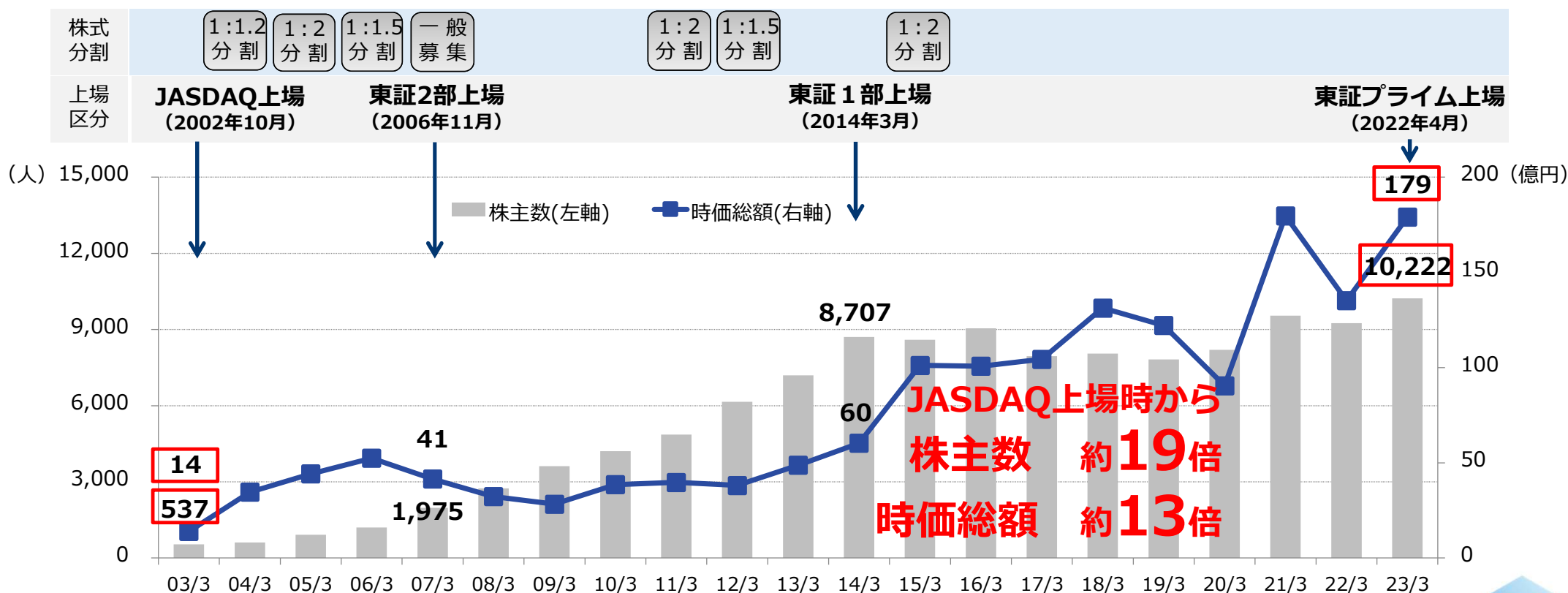
一人当たり指標



※「国内従業員数」にて算出しております。

巻末資料（株主数・時価総額推移）

「持続的な成長」と「安定した資本効率と収益性」に取り組み続けた結果、多くの株主様からご支援をいただいています



巻末資料（第1次中期経営計画の経営数値目標）

「計画売上高の詳細」

(単位：百万円)

	2020年度 実績	第1次中期経営計画		
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 計画
売上高	14,788	16,099	16,325	19,000
CAGR (2020-2023)				8.7%
営業利益	1,174	1,417	1,452	1,710
利益率	7.9%	8.8%	8.9%	9.0%
ROE	14.0%	13.8%	11.8%	13.0% 以上

(単位：百万円)



巻末資料 (第1次中期経営計画の重要経営指標(非財務詳細))

		重要経営指標(KPI)	2023年 3月期実績	第1次中期 経営計画	中期の 方向性			重要経営指標(KPI)	2023年 3月期実績	第1次中期 経営計画	中期の 方向性	
非財務 IT活用による	ダイバーシティ 促進	女性活躍	女性管理職の割合	9.0%	10%	「女性の 活躍推進」 「障がいのある 方の雇用貢献」 「LGBTQへの 対応」	非財務 IT活用による	コミュニケーション 活性化	スマイルシェアプロダクト 活用度 (いのペイ利用率※2)	60%	80%	自社プロダクト 「スマイルシェア」 によるウェル ビーイング向上
			係長級(JP-A)に占める 女性社員比率	18.4%	20%				ITスキル研修受講率	91%	100%	多様なプロ フェッショナル 人材の活躍
			JP-A昇進申請者における 女性の割合	22.2%	25%			資格取得推進 (応用情報/AWS/ Oracle Cloud) ※3		21%/1%/2%	前期比較で増加	
		男女間の 賃金格差	全労働者	77.9%	同一役職内 での格差は ないため、 女性活躍推進 により 格差を是正			1人当たり教育・研修 (自己啓発含む)日数	2.9MD	12MD		
			うち正規雇用労働者	82.5%				GHG排出量目標 (Scope1,2,3) (基準年度:2021年度)	Scope1,2:234t-co2 Scope3:4,368t-co2	Scope1,2:263t-co2 Scope3:4,348t-co2	2030年に向けて SCO1,2:4.2%削減	
			うちパート・有期労働者	73.5%								
	働き方改革	ワーク ライフ バランス	時間外勤務時間(月平均) ※1	31h	25h	仕事のやりがい 心身の健康 アブデン ティズム 健康経営		※1 所定(7.5h)外労働時間にて算出。裁量労働適用者、管理監督者を含む 全社員の平均				
			有給休暇取得率	64.1%	70%			※2 いのペイ(ミニアプリも搭載した社内通貨キャッシュレス決済アプリ)の利用率				
			男性の育児休業取得率	35.7%	50%			※3 応用情報技術者試験/AWS認定資格(レベル:プロフェッショナル)/Oracle認定 資格(Oracle Cloud Infrastructure)				
		健康経営	全社員への健康教育・ 動機付け	-	-							
			高ストレス者の割合	14.4%	10%							
			働き甲斐を 感じている社員の割合	40.0%	60%							

東証プライム 証券コード2335

CUBE SYSTEM

株式会社 **キューブシステム**

IR担当へのお問い合わせはこちら

<https://www.cubesystem.co.jp/contact/>

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
- そのため、様々な外的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。